

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭56—42676

⑬ Int. Cl.<sup>3</sup>  
F 28 B 9/10  
1/02

識別記号

庁内整理番号  
7380—3L  
7380—3L

⑭ 公開 昭和56年(1981)4月18日

審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑯ 復水器

芝浦電気株式会社タービン工場  
内

⑰ 実 願 昭54—124715

⑱ 出 願 人 東京芝浦電気株式会社

⑲ 出 願 昭54(1979)9月11日

川崎市幸区堀川町72番地

⑳ 考 案 者 岩野利男

㉑ 代 理 人 弁理士 則近憲佑 外1名

横浜市鶴見区末広町2の4東京

㉒ 実用新案登録請求の範囲

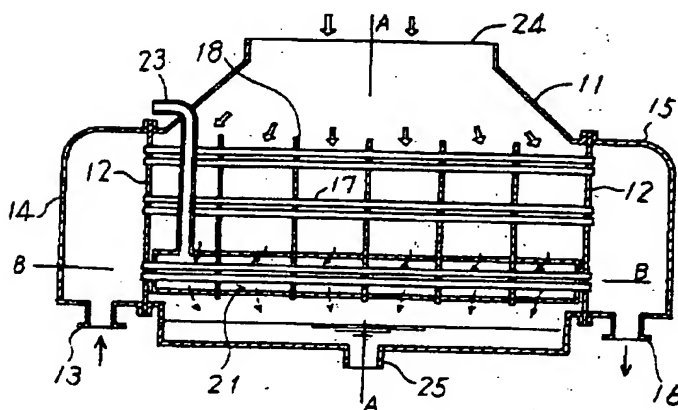
器内に配設された冷却管群と、これらを支持する  
支え板と、蒸気と冷却管群内を通る冷却水とが  
熱交換する際、生成される不凝縮ガスを冷却する  
ために上記冷却管群の低部に設けた空気冷却部と、  
この空気冷却部に連通し、不凝縮ガスを外部に放  
出する空気抽出管とを有する復水器において、上  
記空気冷却部と連通する空気抽出管の入口側にそ  
らせ板を設けたことを特徴とする復水器。

図面の簡単な説明

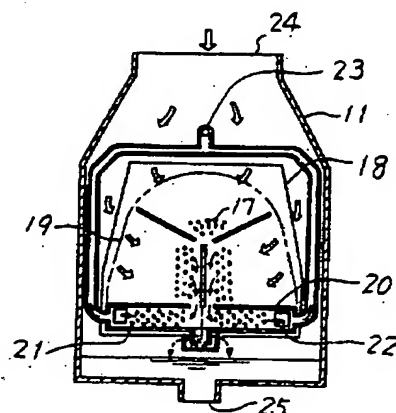
第1図、第2図及び第3図はいずれも従来の実  
施例を示し、第1図は復水器の横断面図、第2図  
は第1図のA—A線に沿った切断断面図、第3図  
は第1図のB—B線に沿った切断断面図、第4図  
は本考案による復水器の一実施例の横断面、第5  
図は第4図のC—Cに沿った切断断面図。

13…入口、14…前部水室、15…後部水室、  
16…出口、17…冷却管、18…支え板、19  
…冷却管群、21…空気冷却部、22…空気通路  
部、23…空気抽出管、26…そらせ板。

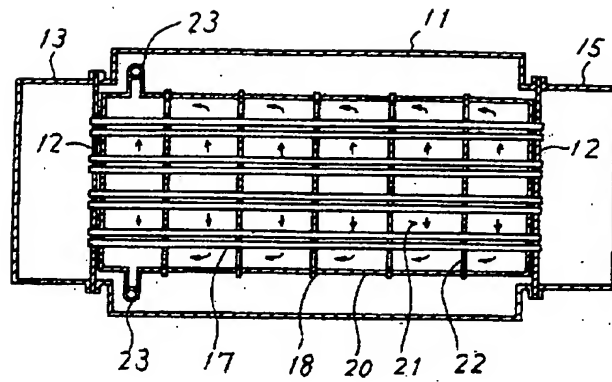
第1図



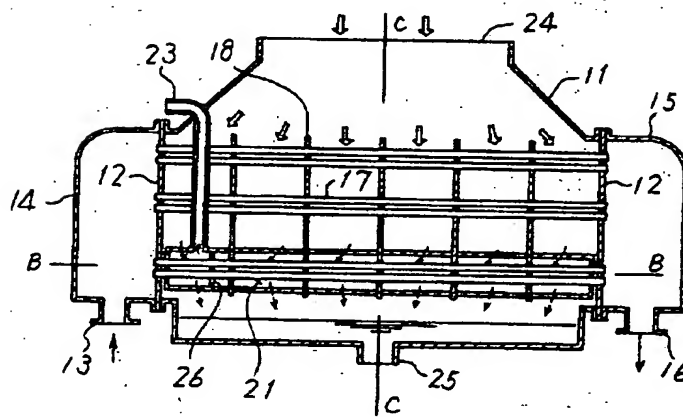
第2図



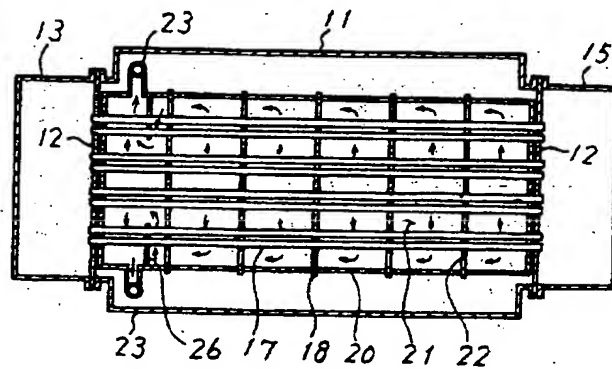
第3図



第4図



第5図



公開実用 昭和56—42676



(4000円)

実用新案登録願(05)

昭和 年

特許庁長官 殿

1. 考案の名称

フタ

スイ

キ

2. 考案者

★ ナガフケンヨゴハマ シンル ミ クスエヒロチヨウ  
神奈川県横浜市鶴見区末広町2の4  
トウキョウデンキ株式会社 タービン工場内  
東京芝浦電気株式会社タービン工場内

イ

ノ

ト

オ

3. 実用新案登録出願人

(307)

神奈川県川崎市幸区堀川町72番地  
東京芝浦電気株式会社

代表者 岩 田 式 夫

4. 代理人

〒100

東京都千代田区内幸町1-1-6